

新たに登録される「口之津15号」の特性						
[要約] 「口之津15号」は、扁平で浮き皮果の発生しない、無核で食味良好な12月に出荷できる新しいかんきつである。						
長崎県果樹試験場・常緑果樹科	専門	育種	対象	果樹類	分類	指導
平成5年度果樹試験場業務報告						

[背景・ねらい]

農林水産省果樹試験場育成の新かんきつについて県内適応性を検討した。

1989年4月に11年生「松尾温州」に高接ぎを行った「口之津15号」について、1991年産、1992年産及び1993年産果実の形質調査を行った。また、1989年3月、無加温ハウス内の13年生「青島温州」に高接ぎを行った同系統についても同時期に果実の形質を調査した。

新系統の来歴

系統名	交配組み合わせ	
	(♀ × ♂)	
口之津15号	三保早生	× アンコール

[成果の内容・特徴]

- ①露地栽培では果実重180g前後の扁平な果実で、果皮は濃橙色であり、浮き皮果は発生しない。
- ②12月下旬で糖度は12度前後、酸含量は1.0g/100ml以下で、早くから食味はよい。また、1月以降も味ぼけしにくい。
- ③じょうのう膜がやや厚い。
- ④無核果が多いが、少数の種子を有する果実もある。
- ⑤無加温ハウス栽培では200g以上の大果になる。露地に比べ、やや糖度が低い傾向が見られる。

[成果の活用面・留意点]

- ①樹勢が弱く、樹勢強化技術の検討が必要である。

[具体的データ]

表1 「口之津15号」の果実及び果皮の特性

年産	栽培法	調査 月日	果形 指数	1果 平均重 (g)	果皮色	果		皮		
						カラチ ヤート値	粗滑	はく の難	皮易	厚さ (mm)
1991年	露地	12.20	142	289	橙	8.0	滑	中	2.0	無
	露地	1.20	153	201	濃橙	9.1	中	中	1.9	無
1992年	露地	12.21	138	169	橙	8.0	滑	中	2.3	無
	露地	1.20	141	164	橙	7.5	滑	中	2.4	無
1993年	露地	12.21	130	180	橙	8.7	滑	中	3.1	無
	露地	1.20	—	179	橙	—	中	中	—	無

表2 「口之津15号」の果肉の特性及び品質

年産	栽培法	調査 月日	果 肉			さじょう		果 汁		
			果肉 歩合 (%)	じょう 膜の厚さ	うのう	色	硬さ	含核数	糖度	酸含量
(g/100ml)										
1991年	露地	12.20	80.9	中	橙	中	1.0	11.4	0.99	11.5
	露地	1.20	81.1	中	橙	中	0.0	12.5	0.95	13.2
1992年	露地	12.21	80.7	中	濃橙	軟	0.2	12.5	0.84	14.8
	露地	1.20	79.2	中	濃橙	軟	0.2	13.1	0.70	18.7
1993年	露地	12.21	78.1	厚	濃橙	中	0.4	12.4	0.79	15.7
	露地	1.20	76.3	厚	濃橙	軟	0.0	12.6	0.62	20.3

[その他]

研究課題名：中晩生カンキツの特性調査並びに栽培試験

予算区分：県単

研究期間：平成5年度（平成1～5年）

研究担当者：濱口壽幸、岸野 功

既発表論文等：平成3、4年度長崎県果樹試験場業務報告。

残された問題点：栽培技術の確立が必要である。